

## 霧ヶ峰高原火災 続報 - 西日本防災システム

2013 04 30

諏訪市は4月30日、「霧ヶ峰高原草原再生火入れ事業」の最中に発生した28日の霧ヶ峰高原の火災について市議会全員協議会に報告し、山田勝文市長が「多大なご迷惑とご心配をおかけした」と陳謝しました。消火活動で他県などのヘリの協力を仰いだことから、火入れは来年以降、見合わせる考えを示したようです。

また、延焼が、国指定の天然記念物のある霧ヶ峰湿原植物群落の「池のくろみ踊場湿原」に及んだため、諏訪市などでつくる火入れ事業主催者の実行委員会が、県教委を通じて文化庁に報告することも明らかにしたようです。市教委によりますと、踊場湿原は今回、火入れを実施した草原の南西側に位置し、約20ヘクタールのうち1割程度が焼失したとみられるといえます。

市によりますと、焼失面積は約154ヘクタールになるそうです。市は全員協議会で、「着火した午前8時40分ごろは無風状態だったが、9時40分頃から強風になった。この時間帯の強風は想定外だった」と説明しています。強い西風で一気に燃え広がったようです。

市の報告によりますと、28日は消防車29台が出動しました。消防署、消防団、諏訪市職員など526人と、長野、群馬、山梨、埼玉、岐阜各県の防災ヘリコプター計5機、自衛隊ヘリ2機が出動して消火活動にあたったそうです。

とんでもない大騒ぎに至ってしまいました。今後は中止 もいたしかたないない判断かもわかりませぬね。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

